

矢板市 生活支援体制整備事業 第2層協議体準備会(1回目)を開催しました

矢板市社会福祉協議会は、矢板市から生活支援体制整備事業の委託を受け、高齢者の方がいつまでも住み慣れた地域で元気に過ごすことができるよう、助け合い・支え合いのある地域づくりに取り組んでいます。

第2層協議体設置に向けての準備会を開催しました。



矢板地区 2月13日 参加44名



泉地区 2月21日 参加16名

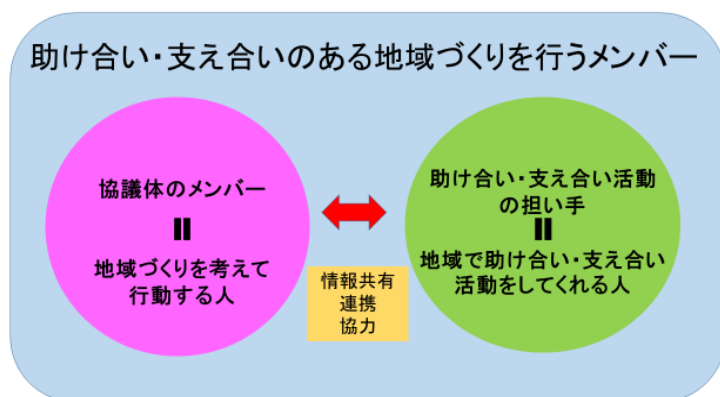


片岡地区 2月28日 参加24名

1 「助け合い・支え合いのある地域づくりと協議体について」 第1層SC(生活支援コーディネーター)川畑聡子 第2回地域づくり勉強会で行った内容とグループでの話し合いのふりかえりを行った後、協議体の目的と役割、助け合い・支え合いのある地域づくりを行うとはどんなことかを説明させていただきました。

- 協議体は、地域にある色々な組織・団体・活動・個人など(多様な主体)から、助け合い・支え合いに関心のある方に参加をいただき、まずは地域の情報(困り事やすでにある助け合い・支え合いの活動など)を集めていきます。そうした情報から、困り事を解決するために何ができるか、すでにある活動については広めたり充実させる方法などについて話し合っていきます。調査や勉強が必要なことが出てきたら、協議体として行っていきます。

協議体のメンバーと助け合い・支え合い活動の担い手の両方が助け合い・支え合いのある地域づくりを行うメンバーです！



- 助け合い・支え合いのある地域づくりは、協議体のメンバーだけで行っていくわけではありません。助け合い・支え合い活動の担い手(すでに地域でボランティアなどの活動している人など)と情報共有・連携・協力をしながら、一緒に行っていくものです。
- 協議体のメンバーは、助け合い・支え合い活動の担い手とつなぐ役割をとっていただくようになります。具体的には、協議体の話をそれぞれの地域・組織や団体などに持ち帰って話をしたり、協議体の話し合いでそれぞれの地域・組織や団体などの情報を持ち寄ってもらいます。

準備会では、『助け合い・支え合いのある地域づくりを行うメンバー』の呼称についてアイデアを寄せていただきました。

- ◆ ふくろう(不苦勞)隊
- ◆ お助け隊
- ◆ 支え合う会
- ◆ あゆみ
- ◆ いっしょにやろう会
- ◆ 助け愛メイト
- ◆ あいあいなかま

助け合い・支え合いのある地域づくりを進めていく上でのキーワード

- ① できることから
まずは取り組めそうなことから行っていきます。
- ② 無理のない範囲で
それぞれが無理なくできることを行っていきます。
- ③ 続けていく
地域づくりは、時間や労力を要するものです。また一度仕組みを作ったからそれで終わりというわけにはいきません。**できることを無理のない範囲で続けていくことがとても大切になります。**

第2層協議体は、みなさんと目標(目指す地域像)を決めて進めていきます。

2 ワークショップ「地域の困り事・課題の分類」～協議体模擬体験



協議体の模擬体験を通して、「地域の困り事・課題の分類」を行いました。

まずは、「地域にある困り事や課題」を書き出し、それを「地域でできるか」「地域でできないか」を考え、さらに取り組みを「至急」行った方が良いか「ゆっくり」でも良いかを話し合い分類しました。話し合いでは、「それは地域でやるしかないよ！」「急いで取り組まないと！」など活発な意見が出て、さらには具体的な活動の仕方、今ある活動についての話が出ていたグループもありました。

左の写真は泉地区で行ったものです。

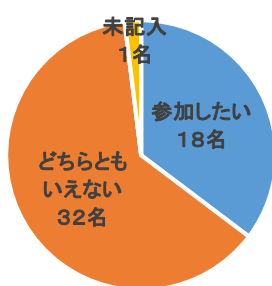
笑いが溢れる楽しい雰囲気でも地域の課題やこれからの地域づくりについて考えることができました。

実際の協議体でも、**集まった情報をもとに、「地域でできること」について、まず取り組めそうなことを話し合っていくことから始めていければ**と考えています。

アンケート結果

参加者84名 アンケート回答者 51名

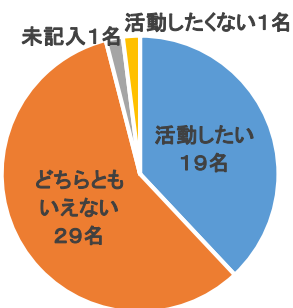
協議体への参加



【アンケート自由意見】

- 参加者として、地域活動を活性化するためのヒントを探っているのので、良いテーマを見つけたい。
- 地域で解決できそうな問題から、行政でも解決できそうな問題など、様々な地域の課題が見えておもしろかった。
- この活動を広報と一緒に配ることで、取り組みを知ってほしい。
- できるだけ活動に参加したい気持ちになりました。
- 個人の困り事が地域の困り事、地域の困り事がまちの困り事でもある。お互い様の世の中、支え合っていきたいですね。
- 助け合い・支え合いならばいいことなし。しかし、助けてもらうだけとなった場合、プライドがある方は抵抗が出てしまう。いずれは自分も思うが間がある。
- 年齢的に少々難しいと思うが、簡単な手伝いはできます。
- 先のイメージがわからない。不安がある。情報共有だけでよいのか。
- 困り事、課題の洗い出し後の現状に対し、改善の「目標」を示しての行動が必要では？

助け合い活動の担い手



助け合い・支え合いのある地域づくりの取り組みは、今までにない新しいスタイル・手法です。私たちも初めてのことで、毎日試行錯誤の連続です。皆さんの地域を安心して暮らしていける地域にしていくために、皆さんの力が必要です！
ぜひ私たちに皆さんの力を貸してください。

ご質問やご意見など、お気軽に連絡ください。

